

久里浜の学び舎



H30(2018).9.12

学校だより 臨時
横須賀市立久里浜小学校
校長 木屋哲人

学校の生活が戻ってきました。また、先日は、授業参観・懇談会に、多くの保護者の方が来校してくださいました。有難うございます。さて、この『久里浜の学び舎』は、懇談会に出席できなかった保護者の皆様をはじめ、地域の皆様にも、学校の様子、学習指導要領改訂による等々をお知らせするために、臨時版として発行いたします。文字だらけで申し訳ありませんが、何とぞ、お付き合いください。

1 「特別の教科 道徳」に関して

道徳が教科になりました

これまで道徳は、年間 35 時間行われる「道徳の時間」を中心として、学校教育全般において指導されてきましたが、今回の学習指導要領の改訂により、「特別の教科 道徳（以下、「道徳科」と表記）」という教科となりました。どんな変化があるのか、以下、説明をいたします。

教科書があります

教科書とは、教科を学習するうえでの、主要な教材であり、文部科学省の検定を受けたものか文部科学省の著作物です。学校教育法では、教科書を使用しなければならないと決められています（例外もあります）。

評価があります

評価とは、そもそも、子どもたちの成長や良い所を認め、励ますためのものです。ただし、他の教科のように、A、B、Cとか、3、2、1という評定をつけることはいたしません。なぜなら、「〇〇さんは、いつも一所懸命に掃除をするからA」というような評価をしていたら、（他から自分のいい所を認めてもらいたい気持ちは誰にでもあることなので）おとなの顔色を見て行動したり、目立つところや表面だけ取り繕ったりすることも考えられます。

学ぶ姿を評価します

道徳科の目標は、「道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる」ことです。したがって、授業中での、道徳科を学んでいる様子、姿を評価します。たとえば、「〇〇について、真剣に考え、自分の考えを深めていた」「〇〇について、いろいろな意見を聞きながら、いろいろな角度から考えていた」「〇〇であることから、自分の生き方を考えていた」などを、授業中の発言や、授業の振り返りの記述などから判断して評価します。

個々の子どもの成長の度合いを評価します

「〇〇さんの授業への取り組み方は、□△さんと比べて、まだまだ低いレベルだ」というように、他の児童との比較では評価しません。その子が、その子の中でどれだけ成長したのか、その度合いで評価します。

進路資料として使用されません

道徳科の評価は、進学時の資料（いわゆる内申点）には使われません。したがって、「道徳の評価が下ると進学に不利になるから、先生の言うことは（たとえ先生が間違ったことを言ったとしても）、何でも、『はい、はい』って、聞いて素直に従いなさい」なんてことは、絶対に言わないでください（むしろこのような発言こそ、

道徳的判断力という点では課題となります)。

性格は評価しません

学校で指導することは、学力(資質・能力)の向上、学び方、学んだことを活かすことです。道徳科は、資質の成長に関わる点が多くあり、ともすればその子の性格や性質に関わる成長にも影響があると考えます。だからと言って、子どもたちの性格を変えるための授業ではありません。したがって、素直な性格であることや、勤勉さなど、性格に関わることは評価しません。内気な子どもより社交的な子どもの方が、評価が高いというようなこともありません。既述したように、あくまで、どう学んでいたのかを評価いたします。

記述で評価します

以上のように、教科となった道徳科ですが、他の教科との多くの相違点があります。評価についても、記述による評価となります。これら他の教科との違いこそ、「特別の教科 道徳」の「特別の教科」なのだと思います。

今後

「特別の教科 道徳」は始まったばかりです。私たちも教員も様々に研鑽を積んで、どうしたら効果的な授業ができるか、どうしたら適切な評価ができるか、日々、努力をしていきます。

様々なご意見を頂戴いたしたいと存じます。

2 本校児童の課題

先日、本校職員が、本校児童について協議しました。その結果、積極性、自尊感情、挨拶など、今後さらに指導が必要なのではないかと、課題を共有しました。

個人的に、特に「挨拶」は、大切なことであると思います。本校職員は、これまで以上に様々な場面で子どもたちに声をかけていこうと考えております。ただ、学校ができることには限りがありますので、是非、保護者、地域の皆様におかれましても、子どもたちに、折に触れ、挨拶を

してあげていただきますよう、お願いいたします。

3 念願が叶います

懸案であった夫婦橋交差点が、今月中にも、歩車分離式交差点になるそうです。つまり、歩行者だけが通行する時間、車両だけが通行する時間というように、それぞれの通行時間が完全に分かれることとなります。その際、車両の渋滞が課題となるようです。したがって、歩車分離式と言っても、スクランブル交差点にはならないとのことですので、ご注意ください。

何はともあれ、これまで、様々に声を挙げてくださった、保護者、地域の皆様のおかげです。感謝申し上げます。

4 ご来校をお待ちいたします

取り急ぎ、ご連絡いたします。本年度の「学校へ行こう週間」は、11月10日(土)～15日(木)です。10日は「くりっ子フェスタ」とPTAの「ぎんなん祭り」、12日は振替休日、13日～15日は通常授業の参観です。

詳細は、また後日、ご連絡いたします。

前回、8月29日付の『久里浜の学び舎』の裏面、右列中段の「ナナカマド」という記述は、「カマドウマ」の間違いでした。ご指摘くださいましたAさんに感謝いたしますとともに、訂正いたします。